



## 太陽ファームグループ 殿 西予市

### ■事績

太陽ファームグループは農業をはじめ、養豚場やホテル経営まで幅広く事業を展開していて、特に農業では大規模化と6次産業化に取り組み、南予を中心に多くの農場を運営している。

グループの中核となる「農事組合法人たいよう農園」は、2012年から本格的に大規模農業に取り組み、4年目に売上高は10億円を超えるまでに成長した。100ヘクタールの畑でキャベツや玉ねぎなどの野菜を耕作し、社員約100名を雇用(平均年齢26歳)するなど、南予地域の活性化にもつながっている。

野菜の生産に加え、年間1万トンを生産するカット野菜工場も運営するなど、生産から販売までを一元管理する農業の完全6次産業化を実現。農地の集約、大規模化、6次産業化を融合させた農業のビジネスモデルを確立させた。

グループ会社の太陽ファームも2015年から西予市に30億円を投じ養豚場を建設、多くの人を採用している。

2016年にはサービス業であるホテルたいよう農園ブランドを立ち上げ、松山市に2棟、徳島県に2棟を運営。グループ内で生産した野菜や豚肉を使った食事も提供するなどグループ全体で6次産業化を実践している。このうち「ホテルたいよう農園古三津」では去年12月に新型コロナウイルスの軽症者の療養施設として使用することを県と合意していて、医療がひっ迫する中で社会貢献にも尽くしている。

太陽ファームグループの仕事は、「食料を守り、農業を守り、農村を守る」こと。そのための行動として「ダイナミックな農業投資と人の採用」を掲げ、農業の未来を創るために愛媛でその活動を広げている。